

地域計画

策定年月日	令和7年3月25日
更新年月日	()
目標年度	令和15年度
市町村名 (市町村コード)	唐津市 (41202)
地域名 (地域内農業集落名)	養母田 (養母田)

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積(農業上の利用が行われる農用地等の区域)	8.1 ha
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	6.4 ha
② 田の面積	3.7 ha
③ 畑の面積(果樹、茶等を含む)	4.1 ha
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	0 ha
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	0 ha
(参考)区域内における70才以上の農業者の農地面積の合計	- ha
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	- ha
(備考)	

(2) 地域農業の現状及び課題

本地域は水田区域においては基盤整備済で主に主食用水稻が栽培され、畑は山手側に点在しており個別農家により野菜・果樹が栽培されているが一部で遊休化が進んでいる。 水田区域の多くは地域内の集落営農法人に集約が進んでおり、地区内に後継者がいる農家は4戸で、現在耕作されている17戸のうち7戸は農業経営継続が厳しい見通しであり、また、8戸は現状維持又は規模縮小の意向となっていることから、水田は更なる集約が進む見込みで、畑は現在の耕作者が離農されれば更に遊休化が進む懸念がある。 【地域の基礎的データ】 農業者8件(うち認定農業者1:集落営農法人)
--

(3) 地域における農業の将来の在り方(作物の生産や栽培方法については、必須記載事項)

水稻及び野菜等の生産は現在の方式により、水田は集落営農法人を中心に集約し、畑は現在の担い手で農地を維持していく。 水路、ため池の維持管理は今後も必須であり、多面的機能支払事業の取組を継続していく。
--

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
離農や規模縮小のタイミングで、現在の担い手への農地の集積・集約化を行い、並行して担い手の農作業に支障がない範囲で農地利用者による農地利用を進める。			
(2) 担い手(効率的かつ安定的な経営を営む者)に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	35	%	将来の目標とする集積率
			36 %
(3) 農用地の集団化(集約化)に関する目標			
担い手となる農家を中心に集約化を進め、目標集積率の達成を目指す。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1)農用地の集積、集団化の取組
水田は集落営農法人に集積、集約が概ね完了している。 畑は点在しており、利用調整が難しいため集約、集積は行わない。
(2)農地中間管理機構の活用方法
現時点では地区としての活用方針は定めず、活用は各個人の検討・判断とするが、水田における集落営農法人との貸借については基本的に農地中間管理機構を活用した貸借を行う。
(3)基盤整備事業への取組
現在のところ取組予定なし。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組
水田は地域の担い手である集落営農法人によって耕作・保全が図られており、今後も関係機関と連携しながら集落営農法人の維持発展に努める。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
水田において、集落営農法人の経営における利用調整等のため、(有)唐津地区農作業受託センターと集落営農法人の間で調整を行っている。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください)

☒ ①鳥獣被害防止対策	☐ ②有機・減農薬・減肥料	☐ ③スマート農業	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☐ ⑦保全・管理等	☐ ⑧農業用施設	☐ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

①畑はイノシシ被害が多く、ワイヤーメッシュ、電牧の計画的な設置を検討する。
⑩地域計画及び目標地図の変更が必要となる場合は、改めて協議の場を設置することを基本とするが、住民負担の軽減を図るため、地区掲示板・回覧等で変更案の内容周知と意見の取りまとめを行うなど、簡易な方法による協議を行うことができるものとする。

4 地域内の農業を担う者一覧(目標地図に位置付ける者)

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状			10年後 (目標年度:令和 15 年度)				
		経営作目等	経営面積	作業受託 面積	経営作目等	経営面積	作業受託 面積	目標地図 上の表示	備考
認農		水稻 果樹 野菜	2.8 ha	0 ha	水稻	2.9 ha	0 ha	1	
利用者			0.5 ha	0 ha		0.5 ha	0 ha	2	
利用者		水稻 麦	ha	0 ha	水稻	0.1 ha	0 ha	3	
利用者		水稻 飼料作物 野菜	ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	4	
利用者		水稻	0.3 ha	0 ha		0.3 ha	0 ha	5	
利用者			0.3 ha	0 ha	水稻 野菜	0.2 ha	0 ha	6	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	7	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	8	
利用者		水稻 野菜	0.1 ha	0 ha	水稻 野菜	0.1 ha	0 ha	9	
利用者			ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	10	
利用者			0.1 ha	0 ha		0.1 ha	0 ha	11	
利用者		みかん	0.6 ha	0 ha	みかん	0.6 ha	0 ha	12	
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
			ha	ha		ha	ha		
計			4.9 ha	0 ha		5.2 ha	0 ha		

5 農業支援サービス事業者一覧(任意記載事項)

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図(別添のとおり)

7 基盤法第22条の3(地域計画に係る提案の特例)を活用する場合には、以下を記載してください。

農用地所有者等数(人)		うち計画同意者数(人・%)	
-------------	--	---------------	--

注1:「農用地所有者等」欄には、区域内の農用地等の所有者、賃借人等の使用収益権者の数を記載してください。
注2:「うち計画同意者数」欄には、同意者数を記載してください。
注3:提案する地区の対象となる範囲を目標地図に明記してください。